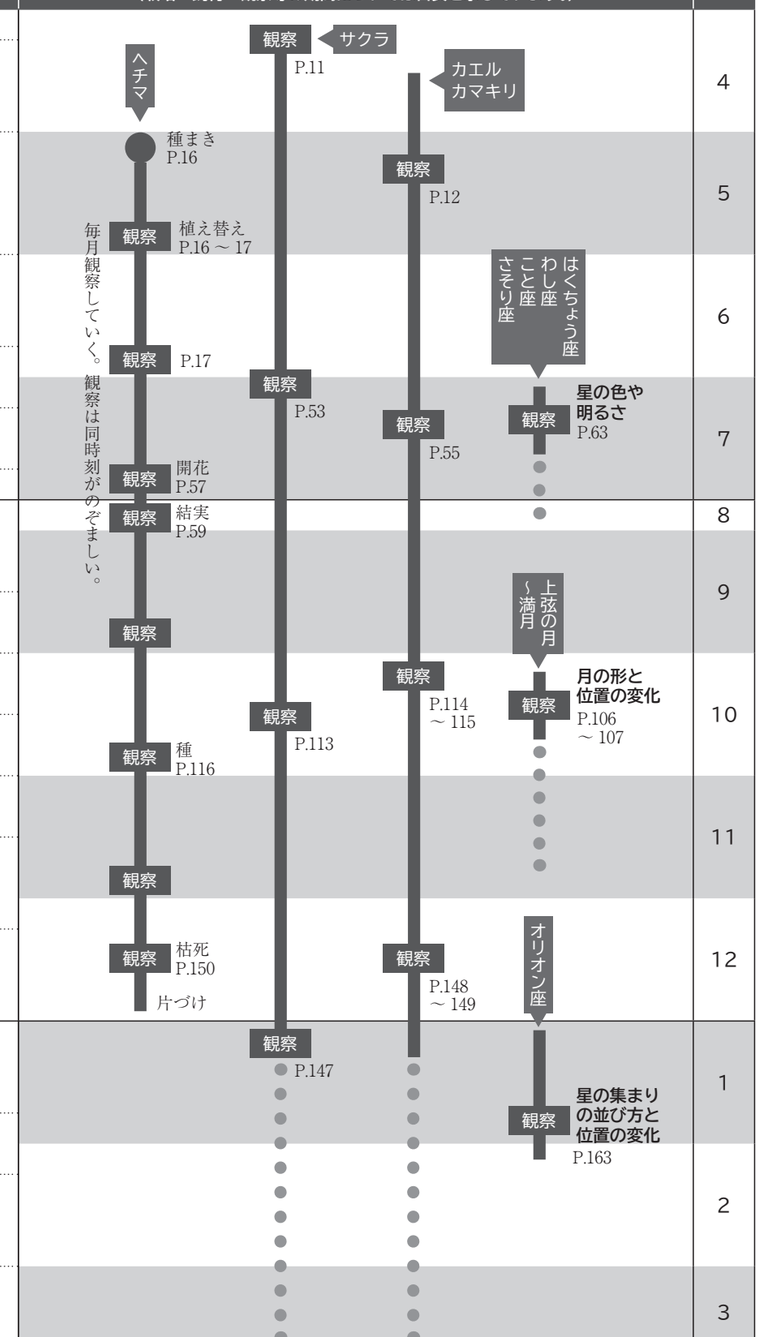
4 学年　1 年間の学習

（ 地域の気象条件などに応じて，学習の適期を逃さないように弾力的に年間計画を作成・運営していくようにしてください。 ）

「時数」内の数字は単元配当時間　（ ）内の数字は標準配当時間
単元配当時間と標準配当時間に差がある単元は，「しらべてみよう」「やってみよう」などにその時間をあてます。

月	単元名	時数	留意点等
4	○ 学習の準備	1 (1)	・ヘチマを植える畑や花壇の土づくりなどの準備をしておくとよい。
	1 生き物のくらし ～春～	7 (7)	・年間を通して動物，植物のそれぞれ２種類以上を観察していく。 ・ヘチマ（ヒョウタン）の種を５月上旬ころにまく。 （発芽適温：ヘチマ 25 ～ 30℃，ヒョウタン 25℃前後）
5	2 とじこめた空気と水のせいしつ	9 (10)	・ものづくり（空気でっぽう） ・ものづくり（とじこめた水の性質を利用した物）
6	3 ものの温度と体積	8 (9)	◇実験用ガスコンロの使い方 ・安全めがねの着用とやけど等安全への配慮
	4 生き物のくらし ～夏～	4 (4)	・ヘチマの様子を夏休みの前と後の２回観察し，暑い季節のころの伸びを見る。
7	5 月と星(1) 夏の星	2 (3)	・夜間観察（事故防止と家庭へ協力依頼）　◇星座早見の使い方 ・梅雨時で観察できないときは，夏休み中に観察するとよい。
	○ 自由研究	1 (1)	・過去の研究作品を用意しておくとよい。
8	6 電流のはたらき	10 (11)	・次単元「天気と気温」は，学習が天候に左右されるので本単元と並行して学習を進めてもよい。　・発光ダイオードを扱う。 ・ものづくり（モーターで動く車）　◇検流計の使い方
9	7 天気と気温	4 (4)	・気温の測定は，天候により晴れの日と雨の日を入れ替えてもよい。 ・天気の週間予報を見て計画的に測定日を設定する。
10	8 雨水のゆくえ	6 (7)	・雨樋，ビー玉を使い傾きを調べ，水の流れを見る。 ・雨の日の観察では，急な天候の変化や雷等に留意し，事故防止に配慮する。
	9 月と星(2) 月の形と位置の変化	4 (5)	・三日月や満月のころに観察する。（事故防止と家庭へ協力依頼） ・天候により観察できなかったときは１か月後に行うとよい。
11	10 生き物のくらし ～秋～	4 (4)	・ヘチマは，冬にも観察するのでそのままにしておく。
	11 人の体のつくりと運動	7 (8)	・自分の体を中心に骨や筋肉を調べる。 ・身近で安全な動物の骨や筋肉の観察
12	12 もののあたたまり方	8 (9)	・示温インクで水のあたたまり方を調べる。 ・安全めがねの着用とやけど等安全への配慮
1	13 生き物のくらし ～冬～	6 (6)	·12 月から１月にかけて冬の生き物の様子を観察する。 ・春，夏，秋，冬の観察記録をまとめる。
	14 月と星(3) 星の位置の変化	3 (4)	・冬期の夜間観察（防寒対策，事故防止と家庭へ協力依頼） ・観察が天候に左右されるので観察期間に幅をもたせる。
2	15 水のすがたと温度	7 (8)	・安全めがねの着用とやけど等安全への配慮
3	16 水のゆくえ	4 (4)	・身のまわりの結露現象を取り上げ生活との関連を図る。

栽培・飼育・観察等
（栽培・飼育・観察等の期間については目安を示しています。）



「インターネットで調べてみよう」コンテンツ一覧

5　月と星（1）夏の空（P.65）
星空図鑑
・インターネットで使える星空図鑑です。

11　人の体のつくりと運動（P.128）
人の体が動くのは？
・骨と筋肉のはたらきによって動く様子を見ることができます。

13　生き物のくらし～冬～（P.155）
サクラの１年間の変化
・サクラの季節ごとの変化をみて，１年間を振り返ることができます。
ヘチマの一年
・ヘチマの季節ごとの変化をみて，１年間を振り返ることができます。
ヒキガエルの一年
・カエルの季節ごとの変化をみて，１年間を振り返ることができます。

14　月と星（３）星の位置の変化（P.167）
星空図鑑
・インターネットで使える星空図鑑です。

ものづくりのある単元

2　とじこめた空気と水のせいしつ
・空気でっぽう
・とじこめた水の性質を利用した物

3　ものの温度と体積
・ストロー温度計

6　電流のはたらき
・モーターで動く車

※内容の取り扱い
２種類以上の「ものづくり」を行う。

教材準備

○雨水のゆくえ（10 月）
この単元では，降った雨水の様子を観察し，地面の高低差や水の流れ方の違いを調べるので，単元に入る前の雨が降った際に，校庭や学校周辺で雨水が流れていた場所や雨水がたまっていた場所の様子を写真や動画で撮ったり図で記録したりしておくとよい。
（指導編 P.89 参照）

「P.○」は，児童用教科書のページ数で示しています。